

トヨタ全車種SDV化構想 (Arene) と知財戦略の変革

SDV化基盤「Arene」と事業モデルの変革



開発基盤「Arene」を広範に導入し、販売後もソフトウェア更新で価値を向上。



開発・検証・データを統合する3つの共通基盤で開発効率と品質を両立。

競争軸の移行



購入後の機能追加や継続サービス、セキュリティ対応が新たな顧客価値となる。

SDV時代に求められる知財戦略の再構築



動的FTO



販売後のソフトウェア更新に連動し、発売前だけでなく、更新ごとの継続的特許確認が必要。



欧州Data Act等を見据え、データのアクセス権や派生成果の帰属明確化を推進。